

# ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 698 号

2019年8月1日

発行

アスカ工業株式会社

〒444-0303

西尾市中畑町卯新田上28

## 2018年度

# アルミ缶リサイクル率 93.6%

アルミ缶リサイクル協会（理事長・富永泰夫氏 ユニバーサル製缶株式会社取締役相談役）は、このほど2018年度のアルミニウム缶のリサイクル率を発表した。

これによれば、

### ・アルミニウム缶再生利用量

239,245トン（156.3億缶）

### ・アルミニウム缶消費量

①国産アルミニウム缶 325,491トン（212.6億缶）

②輸入アルミニウム缶 7,840トン（5.6億缶）

③輸出アルミニウム缶 2,667トン（1.6億缶）

消費量総計 ①+②-③  
330,664トン（216.6億缶）

### ・再生利用重量

239,245トン（国内）+70,198トン（輸出）  
=309,443トン（202.1億缶）

### ・リサイクル率

$\frac{\text{再生利用重量 (309,443トン)}}{\text{消費重量 (330,664トン)}} = 93.6\%$

### ・国内循環量でのリサイクル率

$\frac{\text{国内再生利用量 (239,245トン)}}{\text{消費重量 (330,664トン)}} = 72.4\%$

### ・CAN TO CAN率

回収されたアルミニウム缶スクラップのうち、アルミニウム缶材に利用された割合。

$\frac{\text{缶材向け重量 (170,803トン)}}{\text{再生利用重量 (239,245トン)}} = 71.4\%$

### ・昨年度との比較

アルミニウム缶国内循環量 -5.1%

アルミニウム缶輸出量 +20.2%

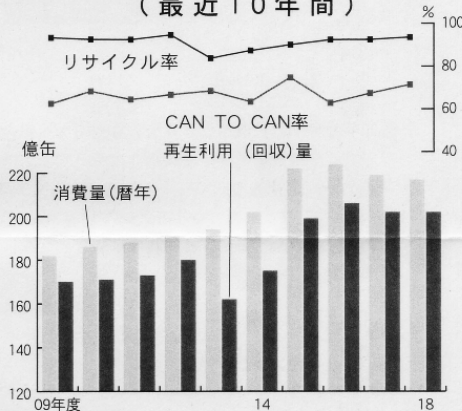
アルミニウム缶消費量 -1.5%

リサイクル率 +1.2%

CAN TO CAN率 +6.1%

昨年に引き続き、韓国向けを中心とするUBC輸出量の急増が大いに注目されるところである。

## アルミ缶リサイクル率の推移 （最近10年間）



## 夏季休日 のご案内

まことに勝手ながら下記のように連休とさせていただきますのでご案内を申し上げます。

8月11日(日)より

8月18日(日)まで

## 平成30年度

# アルミニウムと珪素の輸入

このほど平成30年度（平成30年4月から平成31年3月まで）のアルミニウムと珪素の輸入通関実績が下記のように発表された。（単位 トン）

輸入数量を品目別に前年度と比べると、	
アルミニウム地金	98.4%
合金地金	98.9%
アルミと合金のくず	108.7%
珪素	105.4%

とアルミニウム地金とアルミ合金地金は微減、アルミ

ニウムと合金くず及び珪素は増加した。

アルミニウム地金と合金地金は、両者共需要は好調に推移してきたことから、国際相場の低迷から手当てが手控えられてきた結果と考えられる。

スクラップについては月間1万5千トン程度の輸出が常態化しており、輸出品目として安定商品の地位を占めている。珪素は国内アルミニウム合金地金の順調な生産から考え、順調な伸びと考えられる。

### 平成30年度アルミと珪素の輸入通関実績

	平成30年度	平成29年度
<b>A. アルミ地金</b> (99.0以上)		
①オーストラリア	462,833	359,142
②ロシア	273,469	286,884
③ニュージーランド	151,211	170,172
④アラブ首長国	123,245	128,310
⑤サウジアラビア	101,821	166,936
⑥インド	87,169	56,309
⑦ブラジル	80,288	143,382
⑧南アフリカ	66,013	71,938
⑨カナダ	58,952	43,903
⑩アルゼンチン	51,404	51,652
⑪その他	82,634	86,031
⑫合計	1,539,039	1,564,659

#### B. 合金地金

①中国	370,621	391,794
②ロシア	245,682	321,063
③アラブ首長国	205,767	194,599
④ナイジェリア	70,444	62,724
⑤オーストラリア	56,547	41,107
⑥カナダ	53,726	69,414
⑦マレーシア	45,975	6,094
⑧ニュージーランド	36,759	31,572
⑨カタル	35,491	37,336
⑩韓国	26,000	26,734
⑪その他	109,460	88,400
⑫合計	1,256,472	1,270,837

	平成30年度	平成29年度
<b>C. アルミとアルミ合金くず</b>		
①アメリカ	24,949	18,700
②台湾	6,284	5,929
③マレーシア	6,160	5,986
④中国	3,415	4,197
⑤イスラエル	2,306	2,703
⑥タイ	2,116	1,844
⑦オーストラリア	2,017	4,702
⑧フィリピン	1,413	1,839
⑨アラブ首長国	1,294	346
⑩南アフリカ	1,194	360
⑪その他	7,979	7,796
⑫合計	59,127	54,402

#### D. 珪素

①中国	196,430	191,122
②ブラジル	9,620	4,980
③オーストラリア	6,674	5,480
④ノルウェー	4,694	6,265
⑤ラオス	1,820	840
⑥タイ	714	25
⑦韓国	670	620
⑧南アフリカ	555	600
⑨フランス	152	60
⑩スペイン	80	60
⑪その他	44	98
⑫合計	221,453	210,150

## 第56回 アスカセミナー

10月4日5日 吉良観光ホテル

1964年（昭和39年）に第1回をスタートしたアスカ・セミナーは、本年は第56回を迎える。このほど本年の日程が決定した。

第56回アスカ・セミナーは、

- ・10月4日（金曜日）・5日（土曜日）
- ・会場 吉良観光ホテル（三河湾国立公園）

で挙行のはこびとなった。

セミナー講師は目下慎重に人選中で、近日中に決定発表が予定されている。有益なセミナーと盛大な懇親会で、秋の夜長を心ゆくまで楽しめるように企画が進められている。

半世紀を超す伝統あるこの行事は、本年も大きな期待が寄せられている。



吉良観光ホテル

### 5月生産

アルミ 鋳物  
ダイカスト

減少  
増加

このほど経済産業省が発表した5月の生産動態調査によれば、アルミニウム鋳物の生産量は前年同月比で2.9%減少して34,933トン、アルミニウム・ダイカストは0.2%増加して82,266トンであった。

アルミニウム鋳物は連続して4ヶ月前年同月の水準を下回ったが、ダイカストは3ヶ月ぶりに小幅ながらプラス転換した。

自動車分野からの主要需要が頭打ちし、米中貿易摩擦の影響で一般・電気機械分野も低調に推移した。

アルミニウム鋳物では主要需要の輸送機械が4ヶ月連続して前年同月実績を下回った。一般機械も7ヶ月連続してマイナス。年始から月ごとにマイナス率を拡大し、当月は今年最大の減少率となった。その他も7ヶ月連続してマイナス。6ヶ月連続して1,000トンを下回った。

ダイカストは主力の自動車が3ヶ月ぶりのプラス。二輪車4ヶ月連続のマイナス。一般機械は12ヶ月連続マイナス。電気も3ヶ月連続マイナス。その他は5ヶ月連続のプラスの唯一好調を示した。

### 5月アルミ鋳物・ダイカスト生産

(単位トン・前年比%)

①アルミ 鋳物	34,933	(97.1)
② 一般機械	588	(81.3)
③ 輸送機械	33,460	(97.5)
④ その他	884	(94.1)
⑤アルミ・ダイカスト	82,266	(100.2)
⑥ 一般機械	2,458	(93.7)
⑦ 電気機械	1,355	(90.9)
⑧ 自動車	73,673	(100.4)
⑨ 二輪車	1,835	(98.0)
⑩ その他	2,945	(108.4)

## 大提灯まつり

西尾市一色町の諏訪（すわ）神社で、8月24日、25日天下の奇祭「大提灯まつり」が行われる。

その昔、この辺りの海岸に出没した海魔の退散を祈願した大かがり火が起源と伝えられ、12張りの大提灯に大ローソクで点火する時が最高潮。(写真)



## 社 内 情 報

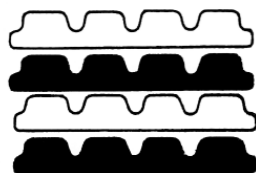
- ◎暑中お見舞い申し上げます。
- ◎社員の丹精が実って、“アスカ農園”できゅうり、なす、トマトが見事に実って、収穫が大いに期待されています。
- ◎トマトの葉が、小鳥たちの好物らしく、果実でなく葉が食い荒らされるのは不思議です。
- ◎第56回アスカ・セミナーをご期待下さい。

## 編 集 後 記

- ☐大提灯まつりは、例年8月26・27日とされており、皆様のカレンダー（日めくり）には、8月26日に「一色大提灯まつり」と印刷されています。
- ☐日取りを変えると大災害など不吉な事が起きると伝えられており、若干心配しております。
- ☐海の不安を祈願するこのお祭りで、ホルムズ海峡はじめ世界の海が平和であるよう祈ります。

## アルミ缶リサイクリング 鋳造用アルミニウム合金地金

アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、鋳造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。



ISO 9001 審査登録

## アスカ工業株式会社

〒444-0303

愛知県西尾市中畑町卯新田上28

TEL <0563> 77-0500(代)

FAX <0563> 77-0501

<http://www.al-asuka.jp/>